

大正6年 常呂尋常小学校が土佐から現在地に移った頃の学校生活

*昭和59年10月に、長船（旧姓：大島）みよさんと高橋（旧姓：横畠）綾子さんに聞き取りした原稿を編集したものです。原文は、質問に答える形式ですが、質問部分を省き、2人の話し言葉を「でした・ました」に変えています。

*長船みよさんは、大正9年3月に常呂尋常高等小学校卒業

*高橋綾子さんは、大正11年3月に常呂尋常小学校卒業

*注：尋常小学校は修業期間6年の義務教育

卒業後は、補習科が設けられていた

高等科は、大正8年に併置され、修業期間は2年

長船：私たちから高等科になりました。私たちの前までは補習科がありました。学校は、土佐の小原友徳さんの向こう側（注：北見側方向）にあり、6年生の時に、今の常呂小学校の場所に移りました。学校がもう古くなり、歩くと床板が落ちてしまい、今の学校に引っ越ししました。こっちに新しい学校ができたので引っ越ししました。みんなで机やいすを持って運びました。

元の学校にあったシダレヤナギやアカシア、桜の木などもその時に持ってきました。

高橋：私は元の学校（土佐）には1年生から行っていました。

*注：明治28年に現在の本通りに常呂教育所が設立

明治33年に常呂尋常小学校に改称（修業年限4年）

明治35年7月1日 常呂村1線3号9番地（土佐）に校舎新築（75坪）

明治38年8月4日 補習科設置（2年）

明治40年4月1日 補習科廃止、修業年限6年

大正5年 常呂村市街予定地（現在地）に位置変更の指定

校舎建設（240坪）

大正6年6月 校舎移転